

会告 II

第20回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウムのご案内 (第3報)

会期：平成25年10月22日(火)

会場：札幌コンベンションセンター
〒003-0006 北海道札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1
TEL：011-817-1010
<http://www.sora-scc.jp/>

会長：山本 哲 (北海道赤十字血液センター)

テーマ：Blood Chain を支える

プログラム (予定)：

1. 血液製剤の緊急需要とその対応

座長：紀野修一 (旭川医科大学病院臨床検査・輸血部)
稲田英一 (順天堂大学麻酔科)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1) 病院内における緊急輸血について | 水田秀一 (藤田保健衛生大学血液内科) |
| 2) 大量出血症例に対する迅速かつ最適な輸血療法確立に向けて | 宮田茂樹 (国立循環器病研究センター) |
| 3) 抗プラスミン剤による出血制御について | 香取信之 (慶應義塾大学医学部麻酔学教室) |
| 4) 血液センターから (赤血球製剤の供給について) | 面川 進 (秋田県赤十字血液センター) |
| 5) 血液センターから (合成血の対応) | 秋野光明 (北海道ブロック血液センター) |

2. 共催セミナー 第37回日本血液事業学会共催セミナーに自由参加

※当日朝8時30分から1階エントランスホールで整理券を配布

3. 血液製剤 (血漿成分) の有用性と副作用

座長：東 寛 (旭川医科大学小児科学講座)
藤井康彦 (山口大学輸血部)

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1) ADAMTS13 解析による血液製剤の選択 | 松本雅則 (奈良県立医科大学輸血部) |
| 2) フィブリノゲン製剤の有用性 | 山本晃士 (名古屋大学輸血部) |
| 3) 新鮮凍結血漿製剤の副作用 | 加藤栄史 (愛知医科大学病院輸血部) |
| 4) 男性由来血漿製剤による TRALI の防止策 | 五十嵐 滋 (日本赤十字社血液事業本部) |

4. 採血副作用の原因とその防止対策 (日本血液事業学会共催)

座長：山本 哲 (北海道赤十字血液センター)
牧野茂義 (虎の門病院輸血部)

- | | |
|----------------------------------|----------------------------|
| 1) 血液事業における採血副作用—血管迷走神経反射とその防止策— | 松崎浩史 (日本赤十字社血液事業本部) |
| 2) 採血時の神経損傷とその防止策 | 溝口秀昭 (前埼玉県赤十字血液センター) |
| 3) ドナーアフレスシス 治療はヘムアフレスシスにおける留意点 | 上田恭典 (倉敷中央病院血液内科・血液治療センター) |
| 4) 自己血輸血における採血副作用 | 脇本信博 (帝京大学医学部整形外科) |

第 20 回秋季シンポジウム事務局：

(平成 25 年 6 月末日まで)

〒063-0002 北海道札幌市西区山の手 2 条 2 丁目 3 番 37 号

(平成 25 年 7 月から)

〒063-0802 北海道札幌市西区二十四軒 2 条 1 丁目 1 番 20 号

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

TEL：011-613-6615 FAX：011-613-4131

E-mail：asympto20@hokkaido.bc.jrc.or.jp

学会本部事務局（学会入会申込等）：

一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-14-14 ユニテビル 5 階

TEL：03-5804-2611 FAX：03-5804-2612

E-mail：info@mailjstmct.or.jp

共 催：第 37 回日本血液事業学会総会

総会長：高本 滋（日本赤十字社北海道ブロック血液センター）

平成 25 年度全国大学病院輸血部会議

議長：清水 力（北海道大学病院輸血部）

第 20 回秋季シンポジウムホームページ： <http://www.jstmct.or.jp/sympo20/>